

日本語における願望を表すモダリティの研究

(形態統語論と意味論の視点)

序論

発話には文章の構造が必要である。言語にある発話は 発話者の考えを接続している時間把握・時間表現を持っている。それを繋げている文法的なカテゴリーはテンスやアスペクトやモダリティである。この研究は日本語における願望を表すモダリティについて研究する。このテーマを選んだのは、各言語が希望あるいは願望を言う方法がある。日本語では、希望・願望を表すときに、「～たい」、「～たがる」、「～てほしい」、「ほしい」の方法構造を使用する。希望または願望を表し方が一つのモダリティに入っている。

モダリティというのは「現実との関わりにおける、発話時の話し手の立場からして、言表事態に対する把握のし方、および、そららについての話し手の発話・伝達の態度のあり方の表し分けに関わる文法的表現である」と仁田（1991:1）が述べている。

この研究で使用する方法は「記述」という分析方法である。データは文献から取得する。

この研究は増岡からのモダリティの理論を使用する。益岡（1999 :126）によれば、願望を表すモダリティとは意思を表すこと、特に自分の意思を表すこと、あるいは、ほかの人にしてほしいことである。願望を表すモダリティは動詞の「～たい」、「～たがる」、「～てほしい」という形を使う。「～たい」は連用形の動詞の接尾辞であり、文法的によく動詞の後に付く。仁田（1997:126）の説

明によると、「動詞連用形+たい」は自分の動作・状態に関する願望を表すこと
だということである。

本論

筆者は66個のデータを集めた。その中で、「～たい」は45個、「～たがる」
は12個、そして「～てほしい」は9個である。それらは願望を表すモダリティ
を示している日本語の文章である。筆者が取得したデータは代名詞によって第一
人称の「～たい」と第三人称「～たがる」に分けている。

1. 「～たい」

「でも、今は、もう少し、女らしく、何か、かわっていることを仕事にする人にな
りたい、と考えていた。」

以上の動詞に「なります」から「なりたい」という形態的変化が起こった。主語
は書いていないが、主語が「私」だと思える。以上の例文がモダリティだと思える
理由は「私」は自分の考えの中で、より女らしい変化を作る人になりたがっている
という願望を持っていることである。

2. 「～たくありません」

「しかし男を殺すにしても、卑怯な殺し方はしたくありません。」

(AR:108)

この例文は「したくありません」という意味を持っているモダリティの文章を示
している。接尾辞の「～たくありません」は「する」に付いている。この例文では
主語は書いていないが、発話者は「私」だという第一人称が考えられる。主語の

「私」はあの人を殺さなければならないが、臆病な人みたいな殺し方をしたくない
と言ったということは願望を表すモダリティを示している。

3. 「～たかった」

「いいえ、私の小学校のことを教えていたんです」、といたかったけど、そんなこと、誰にもわかって頂けることじゃないから、と、急いで、そこを離れました。(TC : 208)

例文にある動詞は形態的变化を受け、果たして「～たい」から過去形に変化したものである。この例文にも主語の「私」は記入されていない。発話者は小学校で教えていたことを言いたがっていたが、誰もわかってくれないから急いで行ったことで願望を表すモダリティがこの例文で見られる。

4. 「～たがる」

「子供は甘いものをたべたがります。」NS (1981:180)

以上の例文で示されている通り、願望を表すモダリティは「食べる」という動詞に付いている「～たがる」の接尾辞に見える。発話者は「私」だが、主語が第三人称である。願望を示すモダリティを表す証拠は発話者が言った主語は甘いものが食べたいことである。

5. 「～たがらない」

「子供はお風呂に入りたがりません。」(BK:47)

以上の例文にある「入る」という動詞に付いている「～たがらない」は願望を表すモダリティを表している。動詞の構造は「入る」+「ます」+「たがらない」であり、「ます」が消え、文法は「入りたがりません」となった。なお、発話者は

「私」であるが、主語は第三人称の「子供」である。モダリティを表すのは発話者の子供はお風呂に入りたがらないことである。

6. 「～たがった」

「母はコートを私に着させたがった。」(<https://manabjuku.me/japanese/auxiliary-verb-tai-tagaru/>).

例文に示されている願望を表すモダリティは過去形に変化した「～たい」である。主語は記入されていないが、主語が「私」だと考えられる。モダリティを示していることは、発話者は自分のお母さんが発話者にコートを着させたがっていたと言っていることである。しかし、言っているは済んだことである。

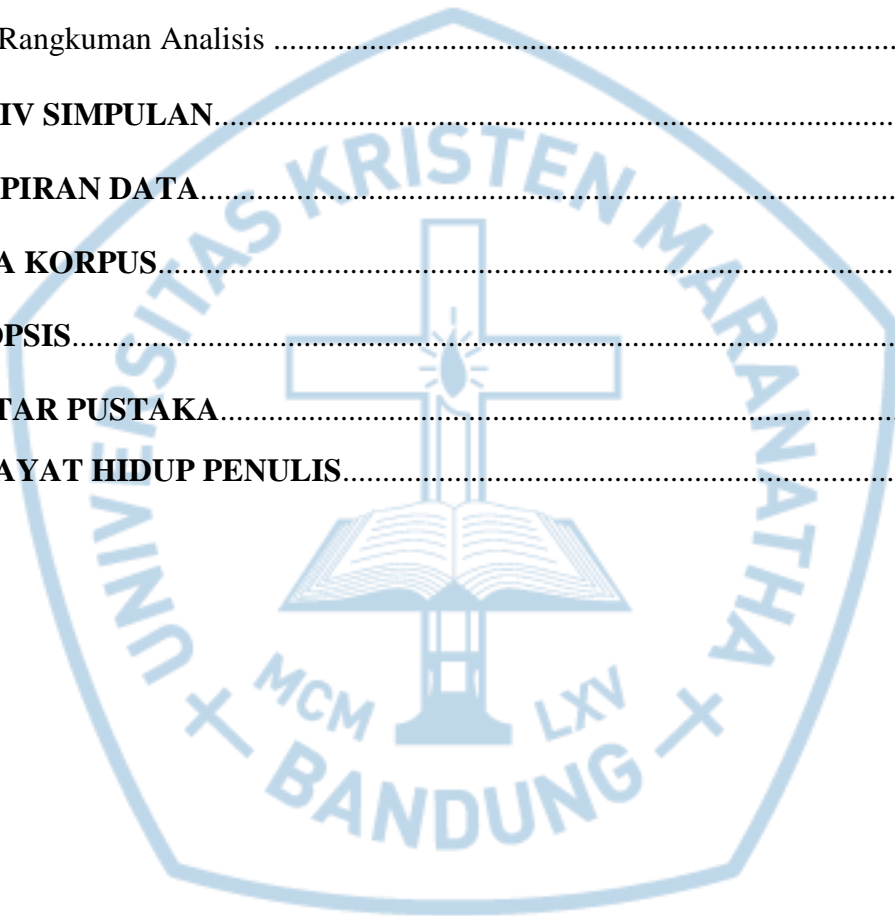
結論

1. 「～たい」は第一人称の意思を表すときに使う。
2. 「～たくない」は第一人称の「やりたくない」という気持ちを表すときに使う。
3. 「～たがった」は過去にある第一人称の意思を表すときに使う。
4. 「～たがる」は第三人称の意思を表すときに使う。
5. 「～たがらない」は第三人称の「やりたくない」という気持ちを表すときに使う。
6. 「～たがった」は過去にある第三人称の意思を表すときに使う。

DAFTAR ISI

HALAMAN PENGESAHAN	iii
KATA PENGANTAR	iv
DAFTAR ISI	vii
BAB I PENDAHULUAN	1
1.1 Latar Belakang Masalah.....	1
1.2 Rumusan Masalah.....	6
1.3 Tujuan Penelitian.....	6
1.4 Metode Penelitian dan Teknik Kajian.....	6
1.5 Organisasi Penulisan.....	8
BAB II LANDASAN TEORI	9
2.1 Morfosintaksis.....	9
2.2 Semantik.....	14
2.3 Modalitas.....	18
2.4 願望.....	21
2.5 Rangkuman Teori	24
BAB III ANALISA DATA MODALITAS <i>GANBŌ</i> (願望) KEINGINAN DALAM BAHASA JEPANG	26
3.1 Modus ~たい.....	27
3.2 Modus ~たくありません/たくない.....	34
3.3 Modus ~たかった.....	36
3.4 Modus ~たがる	38

3.5 Modus ~たがらない.....	42
3.6 Modus ~たがった.....	44
3.7 Modus ~ほしい.....	46
3.8 Modus ~ほしがる.....	49
3.9 Modus ~てほしい.....	51
3.10 Rangkuman Analisis	53
BAB IV SIMPULAN.....	55
LAMPIRAN DATA.....	ix
DATA KORPUS.....	xxi
SINOPSIS.....	xxviii
DAFTAR PUSTAKA.....	xxxii
RIWAYAT HIDUP PENULIS.....	xxxiv



LAMPIRAN DATA

1. もし望み手があるならば、どれでも安い値賣り渡したい——と云ふ話をしたのです。(AR : 98)

Moshi nozomi-te ga arunaraba, dore demo yasui atai uri watashitai to un fu hanashi o shita nodesu.

Jika saya memiliki harapan, saya berbicara untuk mengatakan bahwa saya ingin menjual nilai yang lebih murah.

2. いや、その内どちらにしろ、生き残った男につれそひたい、(AR : 106)

Iya, sono uchi dochira ni shiro, ikinokotta otoko ni tsure-so hitai.

Yah, bagaimanapun, aku ingin membawanya ke pria yang masih hidup.

3. 私は女と服を合わせた時、たとひ神鳴に打ち殺されても、この女を妻にしたいと思ひました。(AR : 108)

Watashi wa on'na to fuku o awaseta toki, ta to hi shinmei ni uchikorosa rete mo, kono on'na o tsuma ni shitai to omohimashita.

Saya berpikir bahwa saya ingin wanita ini menjadi istri meskipun saya dilempari batu oleh Hinomiya ketika saya mendapatkan pakaian dengan seorang wanita.

4. しかし男を殺すにしても、卑怯な殺し方はしたくありません。(AR : 108)

Shikashi otoko o korosu ni shite mo, hikyōna koroshi-kata wa shitaku arimasen.

Tetapi bahkan jika saya membunuh seorang pria, saya tidak ingin secara pengecut membunuhnya.

5. この男の云ふ事を真に受けるな、何を云っても嘘と思へ、——おれはそんな意味を伝えたいと思った。(AR : 125-126)

Kono otoko no un fu koto o Makoto ni ukeru na, nani o yutte mo uso to Shitau e, -- ore wa son'na imi o tsutaetai to omotta.

Jangan menerima kebenaran pria ini, saya menganggapnya sebagai kebohongan, tidak peduli apa yang Anda katakan - saya pikir saya ingin mengatakan arti seperti itu.

6. おれはこの言葉だけでも、盗人の罪は赦してやりたい。(AR : 130)

Ore wa kono kotoba dake demo, nusutto no tsumi wa yurushite yaritai.

Saya ingin mengampuni dosa-dosa pencuri hanya dengan kata ini.

7. しかし私もどうかすると、あの恐ろし雌の河童に追いかけられたい気も起るのですよ。(A : 45)

Shikashi watashi mo dōka suru to, ano osoroshi mesu no kappa ni oikake raretai ki mo okoru nodesu yo.

Tetapi jika saya melakukan sesuatu, saya juga ingin dikejar oleh kappa perempuan yang ketakutan itu.

8. 我々のもっとも誇りたいものは我々の持っていないものだけである。(A : 59)

Wareware no mottomo hokoritai mono wa wareware no motteinai mono dakedearu.

Hal yang paling membanggakan adalah hanya apa yang tidak kita miliki.

9. ついてはどうかこの方の御案内をお願いしたいと思うのですが。(A : 68)

Tsuitewa dō ka konokata no o an'nai o onegaitai to omou nodesuga.

Apakah Anda ingin meminta informasi tentang orang ini.

10. 僕はこういう記事を読んだ後、だんだんこの国にいることも憂鬱になってきましたから、どうか我々人間の国へ帰ることにしたいと思いました。(A : 77)

Boku wa kōiu kiji o yonda nochi, dandan kono kuni ni iru koto mo yūtsu ni natte kimashitakara, dō ka wareware ningen no kuni e kaeru koto ni shitai to omoimashita.

Setelah membaca artikel semacam itu, saya perlahan-lahan menjadi depresi karena berada di negara ini, jadi saya ingin memutuskan untuk kembali ke negara manusia.

11. しかしある事業の失敗したために僕はまた河童の国へ帰りたいと思ひ出しました。(A : 80)

Shikashi aru jigyō no shippai shita tame ni boku wa mata kappa no kuni e kaeritai to omoidashimashita.

Namun, karena kegagalan bisnis tertentu saya juga ingin kembali ke negara Kappa.

12. ただ自殺をするにつけても、ただ一目会いたいのは可愛がって下さった御主人です。(A : 189)

Tada jisatsu o suru ni tsukete mo, tada hitome aitai no wa kawai gatte shita sutta goshujindesu.

Hanya untuk bunuh diri, aku ingin melihatmu pada pandangan pertama adalah suamiku yang sangat imut.

13. ”まだ“というように、教えられるくらいなら、こうやって、やめていただきたい、お願いはいたしません。(TC : 22)

” Mada “to iu yō ni, oshie rareru kurainara, kō yatte, yamete itadakitai, jū negai wa itashimasen.

Saya tidak ingin melakukan 10 hal yang saya ingin berhenti lakukan seperti ini, sebanyak yang saya tahu, seperti "masih".

14. でも、なんとなく、トットちゃんにしては、いいわけをするなんて、いつもと違うから、きっと洋服のことを気にしてるに違いない、と考え、と思った、ただ、ママは、前から聞きたい、と思っていたことを、このさい、トットちゃんに聞いてみようと思って、いった。(TC : 100)

Demo, nantonaku, totto-chan ni shite wa, iwake o suru nante, itsumo to chigaukara, kitto yōfuku no koto o ki ni shi teru ni chigainai, to kangae, to omotta, tada, mama wa, mae kara kikitai, to omotte ita koto o, kono sai, totto-chan ni kiite miyou to omotte, itta.

Tapi entah mengapa, untuk Tutto, itu berbeda dari biasanya yang berbeda dari biasanya, jadi saya berpikir bahwa saya harus cemas tentang pakaian, tetapi ibu ingin mendengar dari sebelumnya. Saya berpikir tentang menanyakan Tutto tentang apa yang saya pikirkan, kali ini.

15. その時、トットちゃんは、ガラス戸で見えない校長先生に逢いたいと思った。(TC : 130)

Sonotoki, totto-chan wa, garasuto de mienai kōchō sensei ni aitai to, omotta.

Saat itu, Toto ingin melihat kepala sekolah yang tidak bisa dilihat di pintu kaca.

16. 逢って、話がしたいという思いで、胸がいっぱいだった。(TC : 166)

Atte, -banashi ga shitai to iu omoi de, munegaippaidatta.

Saya bertemu, saya pikir saya ingin bicara, hati saya penuh.

17. でも、今は、もう少し、女らしく、何か、かわっていることを仕事にする人にする人になりたい、と考えていた。(TC : 170)

Demo, ima wa, mōsukoshi, on'narashiku, nanika, kawatte iru koto o shigoto ni suru hito ni suru hito ni naritai, to kangaete ita.

Tetapi sekarang saya berpikir bahwa saya ingin menjadi orang yang membuat sesuatu lebih seperti wanita dan menjadikan sesuatu yang berbeda sebagai pekerjaan.

18. みんな、良ちゃんに、いいたいことがあったら、いってください。(TC : 196)

Min'na, Ryō-chan ni, itai koto ga attara, itte kudasai.

Semua orang, tolong beri tahu saya jika ada sesuatu yang baik untuk Anda.

19. 「みんなに、おいしいものを食べさせたい」という気持ちを表しているのだから、と一緒に笑った。(TC : 198)

'Min'na ni, oishī mono o tabe sasetai' to iu kimochi o arawashite iru nodakara, to issho ni waratta.

Karena itu mengungkapkan perasaan bahwa "Saya ingin orang makan makanan lezat", saya tertawa bersama.

20. トットちゃんは、あんまりたくさん、いいたいことがあって、困った。(TC : 200)

Totto-chan wa, anmari takusan, itai koto ga atte, komatta.

Tot-chan, ada banyak hal yang ingin kukatakan, aku dalam masalah.

21. トモエ学園と小林宗作先生のことを書く、というのは、長い間、もっとも、私がしたいと思っていたことの、ひとつでした。(TC : 206)

Tomoe gakuen to Kobayashi Sōsaku sensei no koto o kaku, to iu no wa, nagaiai, mottomo, watashi ga shitai to omotte ita koto no, hitotsudeshita.

Menulis tentang Akademi Tomoe dan Profesor Muneaki Kobayashi adalah salah satu hal yang ingin saya lakukan sejak lama.

22. 「いいえ、私の小学校のことを教えていたんです」、といたかったけど、そんなこと、誰にもわかって頂けることじゃないから、と、急いで、そこを離れました。(TC : 208)

‘Īe, watashi no shōgakkō no koto o oshiete ita ndesu’, to itakattakedo, son’na ko to, darenimo wakatte itadakeru koto janaikara, to, isoide, soko o hanare mashita.

Saya ingin mengatakan, "Tidak, saya mengajar tentang sekolah dasar saya", tetapi saya bergegas pergi dari sana karena tidak mungkin bagi siapa pun untuk memahami hal seperti itu.

23. 同時に、朝早いテレビなのに出て来て下さった、白髪で優しそうな先生の若い姿と、廊下で立っただされているのにもかかわらず、なお、知りたがりのテツコちゃんぶりを発揮している自分の姿を想像し、おかしくもあり(TC : 214)

Dōjini, asa hayai terebina no ni dete kite kudasatta, shiragade yasashi-sōna sensei no wakai sugata to, rōka de tatta sa rete irunoni mo kakawarazu, nao, shirita gari no Tetsuko-chan-buri o hakki shite iru jibun no sugata o sōzō shi, okashiku mo ari.

Pada saat yang sama, meskipun berdiri di koridor dengan sosok muda seorang guru abu-abu dan lembut yang keluar untuk menjadi TV awal di pagi hari, masih mendemonstrasikan saat pertama Tetchko ingin tahu Bayangkan diri Anda sedang, Anda lucu.

24. みんな学校が終わっても、放課後、家に帰りたくないぐらいだったんですから。(TC : 216)

Min’na gakkō ga owatte mo, hōkago,-ka ni kaeritakunai guraidatta ndesukara.

Bahkan setelah sekolah semua orang selesai, saya tidak ingin pulang ke rumah sepulang sekolah.

25. この、トモエの本を書くときの使わせて頂きたい、これは、私の夢でした。(TC : 222)

Kono, Tomoe no hon o kaku toki no tsukawa sete itadakitai, koreha, watashinoyumedeshita.

Saya ingin menggunakan ini ketika menulis buku Tomoe, ini adalah mimpi saya.

26. 子供はおふろにははいりたがりません。(BK : 47)

Kodomo wa o furo ni hairita garimasen.

Anak itu tidak mau mandi.

27. 私はカメラが買ってもらいたいです。(BK : 47)

Watashi wa kamera ga katte moraitaidesu.

Saya ingin kamera membeli.

28. 子猫はすぐにお乳を飲みたがる。(<http://国語文法.com/希望の助動詞.html>)

Koneko wa sugu ni o chichi o nomita garu.

Anak kucing ingin segera minum susu.

29. 弟は遊園地に行きたいたいらしい。(<https://manab-juku.me/japanese/auxiliary-verb-tai-tagaru/>)

Otōto wa yuenchi ni ikitairashī.

Saudaraku sepertinya pergi ke taman hiburan.

30. なかなか食べたがらない。(<https://manab-juku.me/japanese/auxiliary-verb-tai-tagaru/>)

Nakanaka tabeta garanai.

Dia tidak ingin makan yang cukup.

31. 友達と遊びに行きたがらない。(<https://manab-juku.me/japanese/auxiliary-verb-tai-tagaru/>)

Tomodachi to asobi ni ikita garanai.

Dia tidak ingin pergi dengan teman-temannya.

32. 母はコートを私に着させたがった。

(<https://manab-juku.me/japanese/auxiliary-verb-tai-tagaru/>)

Haha wa kōto o watashi ni ki saseta gatta.

Ibuku ingin mantel itu dikenakan olehku.

33. 子どもが、カレーライスを食べたがるんです

(https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1054543030).

Kodomo ga, karēraisu o tabetagarun desu.

Anak saya ingin makan kari dan nasi.

34. うちのダンナが、タバコ吸いたがるのよ

(https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1054543030)

Uchi no dan'na ga, tabako suita garu no yo.

Danna saya ingin merokok.

35. 今はまだ風邪ひきたくないなあ。 (Media Social Twitter)

Ima wa mada kaze hikitakunai nā.

Saya tidak ingin kedinginan sekarang.

36. それも全部知って産みたいと思った墮ろすなんて絶対しないしたくないまひろと二人三脚で頑張る。(Media Social Twitter)

Sore mo zenbu shitte umitai to omotta 墮 Ro su nante zettai shinaishitakunai ma Hiro to nininsankyaku de ganbaru.

Saya berpikir bahwa saya ingin meletakkan itu semua saya ingin melahirkan Tidak ada kesulitan saya tidak akan benar-benar tidak mau bekerja keras dengan dua dari kami.

37. 決めつけられたくないよね。(Media Social Twitter)

Kimetsuke raretakunai yo ne.

Saya tidak ingin diputuskan.

38. 落書きにしても、この時の方が上手かったくない??しんどい(Media Social Twitter)

Rakugaki ni shite mo, kono toki no kata ga umakattakunai? ? Shindoi.

Anda tidak ingin menjadi lebih baik saat ini, bahkan jika Anda melakukan grafiti? Apa? Sulit.

39. 同クールの中で高く評価される作品になるような企画でなければやりたくない。(Media Social Twitter)

Dō kūru no naka de takaku hyōka sa reru sakuhin ni naru yōna kikakudenakereba yaritakunai.

Saya tidak ingin melakukannya kecuali itu adalah proyek yang akan sangat dihargai dalam pekerjaan yang sama kerennya.

40. 愛が止められない 止めたくない。(Media Social Twitter)

Ai ga tomerarenai tometakunai.

Saya tidak bisa berhenti mencintai saya tidak ingin berhenti.

41. これでまたなにかといちゃもんつけたがる奴が現れる事であろう。(Media Social Twitter)

Kore de mata nanika to ichamon tsuketa garu yatsu ga arawareru kotodearou.

Itu adalah seseorang yang ingin memakai sesuatu lagi dengan ini.

42. うううう アキハバラ行ってーアリーテ姫観てー奥野さんのバッジいたただきたかったな。(Media Social Twitter)

Ū ūu Akihabara itte arīte hime mite Okuno-san no bajji itadakitakatta na.

Setelah mengatakan bahwa Akihabara menonton - Allee princess watching - Saya ingin mendapatkan lencana Okuno.

43. 今日レペゼン地球幕張行きたかったー。(Media Social Twitter)

Kyō repezen chikyū Makuhari-ikitakatta.

Hari ini saya ingin pergi ke Reppenzen Earth Makuhari.

44. 紅葉見に行来たいです。(Media Social Twitter)

Kōyō mi ni gyō kitaidesu.

Saya ingin datang untuk melihat daun musim gugur.

45. 私は桜の花を見たいです。(NS ; 1981 : 179)

Watashi wa sakura no hana o mitaidesu.

Saya ingin melihat bunga sakura.

46. 私はチョコレートを食べたいです。(NS ; 1981 : 179)

Watashi wa chokorēto o tabetaidesu.

Saya ingin makan coklat.

47. 大学でどんな勉強をしたいと思っています。(NS ; 1981 : 151)

Daigaku de don'na benkyō o shitai to omotte imasu.

Saya ingin belajar sesuatu di universitas.

48. 友達は漢字の練習をしたがっています。(NS ; 1981 : 179)

Tomodachi wa kanji no renshū o shitagatte imasu.

Teman saya ingin berlatih kanji.

49. 子供は甘いものをたべたがります。(NS ; 1981 : 180)

Kodomo wa amaimono o tabetagarimasu.

Anak-anak ingin makan hal-hal yang manis.

50. お祝いを持ってきたい。(BKB ; 1989 : 29)

Oiwai o motte kitai.

Saya ingin membawa sebuah perayaan.

51. 私は絵が習いたいです。(NSK ; 1993 : 62)

Watashi wa e ga naraitaidesu.

Saya ingin belajar melukis.

52. ビュッフェでコーヒーが飲みたいです。(BKB ; 1989 : 101)

Byuffe de kōhī ga nomitaidesu.

Saya ingin secangkir kopi di prasmanan.

53. 私は駅から近いうちがほしいです。(MN I ; 1998 : 182)

Watashi wa eki kara chikai uchi ga hoshii desu.

Saya ingin rumah yang dekat dari stasiun.

54. 私はカメラがほしいです。(MN I ; 1998 : 107)

Watashi wa kamera ga hoshii desu.

Saya ingin mempunyai kamera.

55. 私は自由な時間が欲しいです。(NS ; 1981 : 64)

Watashi wa jiyuu na jikan ga hoshii desu.

Saya ingin waktunya bebas.

56. 高くても、このうちを買いたいです。(MN I ; 1998 : 209)

Takakutemo, kono uchi o kaitai desu.

Meskipun mahal, saya ingin membeli rumah ini.

57. 私はテニスがやりたいです。(NS ; 1981 : 177)

Watashi wa tenisu ga yaritai desu.

Saya ingin melakukan tennis.

58. 私は車が欲しいです。(MN I ; 1998 : 106)

Watashi wa kuruma ga hoshii desu.

Saya ingin mempunyai mobil.

59. その無知が欲しいです。(KM : 1993 : 8)

Sono muchi ga hoshii desu.

Saya ingin cambuk itu.

60. 色々な国を旅行したいです。(MN I : 1998 : 206)

Iroiro na kuni e ryokou shitai desu.

Saya ingin wisata ke bermacam-macam negara.

61. 東京の写真をたくさんジョンに見せたけど、あまり行きたがらなかった。
(<https://japanese.stackexchange.com/questions/14337/when-can-たがる-not-be-used-in-a-continuous-tense>)

Tokyou no shashin o takusan Jon ni misetakedo, amari ikitagaranakatta.

Walaupun saya menunjukkan banyak foto Tokyo kepada John, tetapi dia begitu ingin untuk pergi.

62. 彼はチェロをととても欲しがっている (<https://kotobank.jp/jeword/欲しがる>)

Kare wa chero o totemo hoshi gatte iru.

Dia sangat menyukai Cello.

63. 彼は名声を欲しがらない (<https://kotobank.jp/jeword/欲しがる>)

Kare wa meisei o hoshi garanai.

Dia tidak ingin ketenaran.

64. 彼は酒をととても欲しがっていた (<https://kotobank.jp/jeword/欲しがる>)

Kare wa sake o totemo hoshi gatte ita.

Dia sangat menginginkan sake.

65. 私わたしが作ったケーキを、みんなに食たべてほしいです。(https://j-nihongo.com/te-hoshii/)

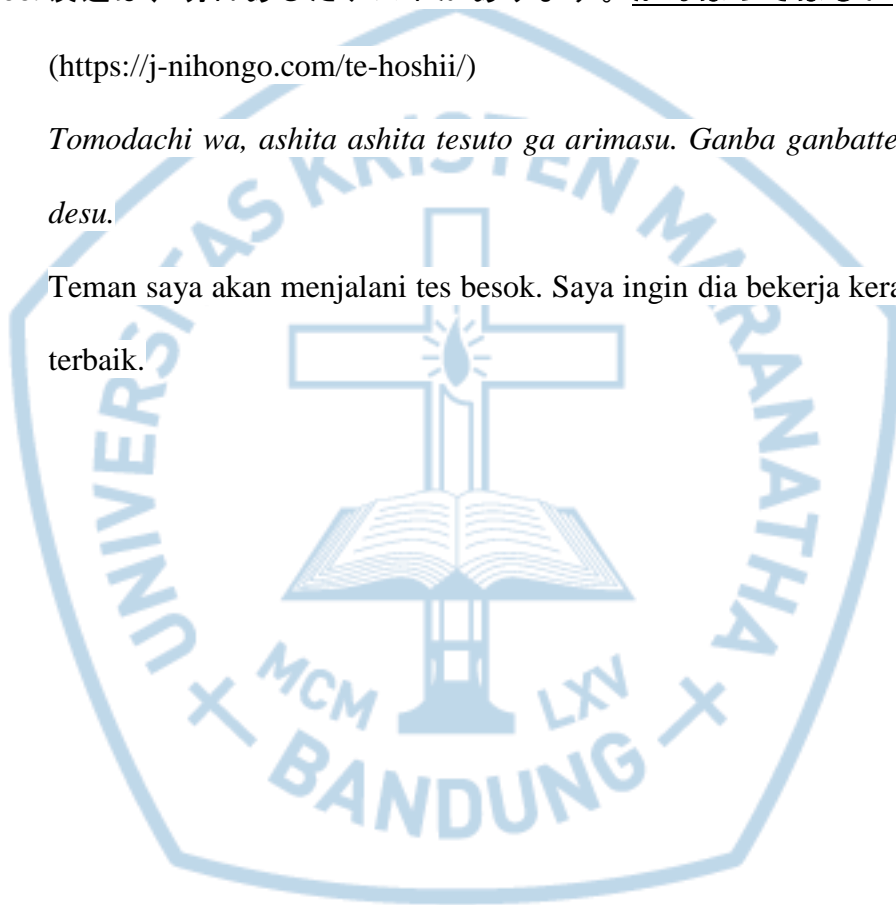
Watashi watashi ga tsukutta kēki o, min'na ni shoku tabete hoshii desu.

Saya ingin semua orang memakan kue yang telah saya buat.

66. 友達は、明日あしたテストがあります。がんばってほしいです。(https://j-nihongo.com/te-hoshii/)

Tomodachi wa, ashita ashita tesuto ga arimasu. Ganba ganbatte hoshii desu.

Teman saya akan menjalani tes besok. Saya ingin dia bekerja keras yang terbaik.



DATA KORPUS

I. Bentuk / Modus たい

Pro nomina persona I は KB を / が KK~たい

1. (1) もし望み手があるならば、どれでも安い値賣り渡したい——と云ふ話をしたのです。(AR : 98)
2. (2) いや、その内どちらにしろ、生き残った男につれそひたい、(AR : 106)
3. (3) 私は女と服を合わせた時、たとひ神鳴に打ち殺されても、この女を妻にしたいと思ひました。(AR : 108)
4. (5) この男の云ふ事を真に受けるな、何を云っても嘘と思へ、——おれはそんな意味を伝えたいと思った。(AR : 125-126)
5. (6) おれはこの言葉だけでも、盗人の罪は赦してやりたい。(AR : 130)
6. (7) しかし私もどうかすると、あの恐ろし雌の河童に追いかけられたい気も起るのですよ。(A : 45)
7. (8) 我々のもっとも誇りたいものは我々の持っていないものだけである。(A : 59)
8. (9) ついてはどうかこの方の御案内をお願いしたいと思うのですが。(A : 68)
9. (10) 僕はこういう記事を読んだ後、だんだんこの国にいることも憂鬱になってきましたから、どうか我々人間の国へ帰ることにしたいと思ひました。(A : 77)
10. (11) しかしある事業の失敗したために僕はまた河童の国へ帰りたいと思ひ出しました。(A : 80)

11. (12) ただ自殺をするにつけても、ただ一目会いたいのは可愛がって下さった御主人です。(A : 189)
12. (13) ”まだ“というように、教えられるくらいなら、こうやって、やめていただきたい、お願いはいたしません。(TC : 22)
13. (14) でも、なんとなく、トットちゃんにしては、いいわけをするなんて、いつもと違うから、きっと洋服のことを気にしてるに違いない、と考え、と思った、ただ、ママは、前から聞きたい、と思っていたことを、このさい、トットちゃんに聞いてみようと思って、いった。
(TC : 100)
14. (15) その時、トットちゃんは、ガラス戸で見えない校長先生に逢いたいと、思った。(TC : 130)
15. (16) 逢って、話がしたいという思いで、胸がいっぱいだった。(TC : 166)
16. (17) でも、今は、もう少し、女らしく、何か、かわっていることを仕事にする人にする人になりたい、と考えていた。(TC : 170)
17. (18) みんな、良ちゃんに、いいたいことがあったら、いってください。
(TC : 196)
18. (19) 「みんなに、おいしいものを食べさせたい」という気持ちを表しているのだから、と一緒に笑った。(TC : 198)
19. (20) トットちゃんは、あんまりたくさん、いいたいことがあって、困った。(TC : 200)

20. (21) トモエ学園と小林宗作先生のことを書く、というのは、長い間、
もともと、私がしたいと思っていたことの、ひとつでした。(TC :
206)
21. (25) この、トモエの本を書くときの使わせて頂きたい、これは、私の
夢でした。(TC : 222)
22. (27) 私はカメラが買ってもらいたいです。(BK : 47)
23. (29) 弟は遊園地に行きたいらしい。([https://manab-
juku.me/japanese/auxiliary-verb-tai-tagaru/](https://manab-juku.me/japanese/auxiliary-verb-tai-tagaru/)).
24. (44) 紅葉見に行きたいです。(MT)
25. (45) 私は桜の花を見たいです。(NS ; 1981 : 179)
26. (46) 私はチョコレートを食べたいです。(NS ; 1981 : 179)
27. (47) 大学でどんな勉強をしたいと思っています。(NS ; 1981 : 151)
28. (50) お祝いを持ってきたい。(MT)
29. (51) 私は絵が習いたいです。(NSK ; 1993 : 62)
30. (52) ビュッフェでコーヒーが飲みたいです。(BKB ; 1989 : 101)
31. (56) 高くても、このうちを買いたいです。
32. (57) 私はテニスがやりたいです。(NS ; 1981 : 177)
33. (60) 色々な国を旅行したいです。(MNI ; 1998 : 206)

II. Bentuk / Modus たくない

Pro nomina persona I は KB を / が KK~たくない

1. (4) しかし男を殺すにしても、卑怯な殺し方はしたくありません。
(AR : 108)

2. (24) みんな学校が終わっても、放課後、家に帰りたくないぐらいだったんですから。(TC:216)
3. (35) 今はまだ風邪ひきたくないなあ。(MT)
4. (36) それも全部知って産みたいと思った墮ろすなんて絶対しないしたくないまひろと二人三脚で頑張る。(MT)
5. (37) 決めつけられたくないよね。(MT)
6. (38) 落書きにしても、この時の方が上手かったくない??しんどい(MT)
7. (39) 同クールの中で高く評価される作品になるような企画でなければやりたくない。(MT)
8. (40) 愛が止められない 止めたくない。(MT)

III. Bentuk / Modus たかった

Pro nomina persona I は KB を / が KK~たかった

1. (22) 「いいえ、私の小学校のことを教えていたんです」、といいたかったけど、そんなこと、誰にもわかって頂けることじゃないから、と、急いで、そこを離れました。(TC:208)
2. (42) うううう アキハバラってーアリーテ姫観てー奥野さんのバッジいただきたかったな。(MT)
3. (43) 今日レペゼン地球幕張行きたかったー。(MT)

IV. Bentuk / Modus たがる

Pro nomina persona I は KB を / が KK~たがる

1. (23) 同時に、朝早いテレビなのに出て来て下さった、白髪で優しそうな先生の若い姿と、廊下で立ったされているのにもかかわらず、なお、

知りたがりのテツコちゃんぶりを発揮している自分の姿を想像し、お
かしくもあり(TC : 214)

2. (28) 子猫はすぐにお乳を飲みたがる。(<http://国語文法.com/希望の助動詞.html>).
3. (33) 子どもが、カレーライスを食べたがるんです
(https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1054543030).
4. (34) うちのダンナが、タバコ吸いたがるのよ
(https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1054543030).
5. (41) これでまたなにかといちやもんつけたがる奴が現れる事であろう。
(MT)
6. (49) 子供は甘いものをたべたがります。(MT)
7. (48) 友達は漢字の練習をしたがっています。(NS ; 1981 : 179)

V. Bentuk / Modus たがらない

Pro nomina persona I は KB を / が KK~たがりくない

1. (26) 子供はおふろにはいりたがりません。(BK : 47)
2. (30) なかなか食べたがらない。(<https://manab-juku.me/japanese/auxiliary-verb-tai-tagaru/>).
3. (31) 友達と遊びに行きたがらない。(<https://manab-juku.me/japanese/auxiliary-verb-tai-tagaru/>).

VI. Bentuk / Modus たがった

Pro nomina persona I は KB を / が KK~たがった

1. (32) 母はコートを私に着させたがった。(<https://manab-juku.me/japanese/auxiliary-verb-tai-tagaru/>).

VII. Bentuk / Modus たがらなかった

Pro nomina persona I は KB を / が KK~たがらなかった

1. (61) 東京の写真をたくさんジョンに見せたけど、あまり行きたがらなかった。(https://japanese.stackexchange.com/questions/14337/when-can-たがる-not-be-used-in-a-continuous-tense)

VIII. Bentuk / Modus ほしい

Pro nomina persona I は KB がほしい

1. (58) 私は車が欲しいです。(MN I; 1998 : 106)
2. (59) その無知が欲しいです。(KM : 1993 : 8)
3. (54) 私はカメラがほしいです。(MN I; 1998 : 107)
4. (55) 私は自由な時間が欲しいです。(NS ; 1981 : 64)

IX. Bentuk / Modus ほしがっている

Pro nomina persona I は KB がほしがっている

1. (62) 彼はチェロをととてもほしがっている (https://kotobank.jp/jeword/欲しがる)

X. Bentuk / Modus ほしがらない

Pro nomina persona I は KB がほしがらない

1. (63) 彼は名声をほしがらない (https://kotobank.jp/jeword/欲しがる)

XI. Bentuk / Modus ほしがっていた

Pro nomina persona I は KB がほしがっていた

1. (64) 彼は酒をととてもほしがっていた (https://kotobank.jp/jeword/欲しがる)

XII. Bentuk / Modus てほしい

Pro nomina persona I は KB を / が KK~てほしい

1. (65) 私わたしが作ったケーキを、みんなに食たべてほしいです。
2. (66) 友達は、明日あしたテストがあります。がんばってほしいです。

